

甲府市議会だより

第138号

平成15年8月1日

編集・発行

甲府市議会だより

編集委員会

電話 (235) 7054

甲府市議会事務局



新しい市議会がスタート

5月臨時会

6月定例会

就任あいさつ



甲府市議会副議長 桜井 正富



甲府市議会議長 谷川 義孝

私達兩名は、市議会五月臨時会において名譽ある第八十五代甲府市議会議長、第九十五代副議長に選任され、誠に身に余る光榮であり、その責任の重大さを痛感している次第であります。

本市も、宮島市政が誕生し、人と地域をつなぐ『わ』の都・こうふの実現に向け、進展する地方分権の潮流を踏まえつつ、一層の市民福祉の向上と更なる地域の振興に力点を置き、夢と希望に満ちた甲府市の建設に新たなスタートを切りました。市町村合併・長期に及ぶ景気の低迷等、本市を取り巻く社会経済環境は予断を許さない状況にあります。市民の新政への期待は大きいものがあります。

市議会といたしまして、議会改革、議員の資質向上に努め、開かれた議会づくりを目指すとともに、市民の皆様のご意見ご要望が十分市政に反映されるよう論議を尽くしてまいりますので、今後ともより一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

議会を傍聴しましょう

本会議では、皆さんの代表である議員の活動や審議状況等を傍聴することができます。議会事務局までお問い合わせ下さい。次の定例会は9月の予定です。



六月定例会の動き

六月三日(火)

定例会初日は諸報告を行い、会議録署名議員の指名及び会期決定をした後、市長より提出議案全部に対する提案理由の説明と所信表明がありました。

六月六日(金)

議案調査で二日間休会後、再開した本会議の初日は新政クラブの代表質問から始まり、敷島町の水道に関する対応、「心の教育」、学校と保護司などとの連携強化等市の見解を求めました。

次に政友クラブの代表質問が行われ、中核市構想、西甲府駅の設置、窓口サービスの充実等市の見解を求めました。

続いて公明党の代表質問が行われ、若者の就業拡大策、学校評議員制度、女性専門外来診療の開設等市の見解を求めました。

六月九日(月)

質問第二日目は始めに日本共産党の代表質問が行われ、新都市拠点整備事業、行政改革、有事関連三法等市の考えをたどりました。

次に日進クラブの代表質問が行われ、中小企業振興融資制度緊急不況対策、市町村合併、敷島町の合併に伴う上水道等市の見解を求めました。

代表質問の最後は市民クラブが行い、政策予算、小学校の適正規模・適正配置、医療事故の公表等市の考えをたどりました。

この日の四人目からは一般質問に移り、新政クラブが図書館の駐車場、レファレンスサービス、千代田湖畔及び周辺の環境美化等市の見解を求めました。

六月十日(火)

質問最終日は、新政クラブの一般質問が行われ、市有地の有効活用と未利用地の処分、公共用地の利活用としての公営住宅の対応、天然ガスコージェネレーションの導入等市の見解を求めました。

次に政友クラブの一般質問が行われ、職員の採用、学校給食での地場産品使用の位置付け、住民基本台帳ネットワークシステム等市の見解を求めました。

次に日本共産党の一般質問が行われ、下水道使用料、介護保険料、プレハブ教室の解消等市の考えをたどりました。

質問の最後は無所属の一般質問が行われ、平成十五年予算編成、歴史公園の整備、政府系資金の対応等市の見解を求めました。

議案、請願等はそれぞれ所管の常任委員会に付託されました。

六月十一日(水)

この日は、本会議は休会で各常任委員会が開催されました。

六月十二日(木)

最終日には、各常任委員長から委員会審査の経過と結果についての報告を受けました。

総務委員会では、甲府市・敷島町合併協議会の設置について、現在敷島町は他町との合併協議中であり、その結果を待たずに合併協議会を設置するのは拙速である。今回の協議会設置も民意に基づくものではなく反対との意見と、敷島町とは長い歴史経過があり、同町と他町の合併論が浮上する中で甲府市が曲解されている状況が見受けられ、合併協議会を設置して論議を深めるべきであり賛成との意見があり、採決の結果多数をもって可決と決しました。

平成十五年度甲府市一般会計補正予算及び甲府市手数料条例の一部を改正する条例制定について、住民基本台帳カードの個人情報に対する保護措置が不明確、さらに、監視社会の実現が危惧されるので反対との意見があり、採決の結果多数をもって可決と決しました。

民生文教委員会では、甲府市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定については、低所得者の負担増につながるため反対との意見があり、採決の結果多数をもって可決するものと決しました。

経済建設委員会では、歴史公園の用地取得は市民生活に支障なく早急に必要事業とは思われないので反対との意見と、行政としてしっかりとしたコンセプトがある事業はまちづくりが必要で、後世の市民のために有益であるので賛成との意見があり、採決の結果多数をもって可決と決しました。

環境水道委員会では、平成十五年度甲府市一般会計補正予算について全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。付託された案件は、いずれも各委員長報告のとおり可決しました。議員提案された意見書一件について全員異議なく可決されました。

この後、各常任委員長から申し出のあった閉会中継審査及び調査について決定し六月定例会は閉会となりました。

意見書



関係機関へ提出 (要旨掲載)

義務教育費国庫負担制度を堅持し、教育の機会均等及び水準の維持向上を求める意見書

義務教育費国庫負担制度は憲法の要請を受け、国の責任として国民に対し一定水準の義務教育を保障するものとしてきわめて重要で不可欠な制度である。

よって、義務教育費国庫負担制度の現行水準を維持し、教育の機会均等が引き続き確保されるよう強く要望する。

郵便投票制度等の改正を求める意見書

一 障害者や難病者、要介護の高齢者等、郵便投票の対象者の拡大を図るとともに、自筆が困難な人のために代理投票制度の導入等、投票機会の確保を図る。
二 現在の郵便投票制度における申請手続等の簡素化を図るなど、障害者等が容易に投票できるように改善を図る。

六月定例会審議日程

6月3日(火)	開会、提案理由の説明
4日(水)	議案調査のため休会
5日(木)	会
6日(金)	本会議、質疑及び市政一般質問
7日(土)	休会
8日(日)	休会
9日(月)	本会議、質疑及び市政一般質問
10日(火)	本会議、質疑及び市政一般質問、各常任委員会付託
11日(水)	各常任委員会
12日(木)	本会議、各常任委員長報告、閉会

市政

質問



(要旨掲載)

新政策プランの基 本理念について (新政クラブ)

【問】宮島市長の基本理念は、新政策プラン「『わ』の都・こうふプロジェクト」であります。

「先人の功績に思いを馳せ、過去の教訓に学びながら、次代を担う子どもたちへ、そして今を生きる全ての市民へ明るい未来を約束するために」この崇高な理念実現こそが本市の将来を見据えた責務であると思います。お考えをお伺い致します。

【答】地方分権改革や税財政構造改革の中、市民福祉の一層の向上と地域全体の振興を着実なものとするためには、「参画」と「協働」を基本とした「住民自治」と「団体自治」の確立が急務であり、同時に個性ある豊かな都市づくりを進めることが必要であります。私が、このたび発表いたしましたし

た新政策プラン「『わ』の都・こうふプロジェクト」は、こうした認識に立ち、対話重視による合意を基本とした開かれた市政の推進と、市民・生活者起点による質の高い行政の実現を図るとともに、

これまで先達が営々と築いてこられた本市固有の地域資源を活かしながら、調和と連携、そして支え合いによる「『わ』の都・こうふ」の実現を目指すものであります。今後、新政策プランに位置付けました施策はもとより、関連する諸事業にも積極・果敢に取り組み、次の世代へ自信と誇りをもつて引き継げる地域社会の構築に努めてまいります。

敷島町の合併に伴 う上水道について (政友クラブ)

【問】竜王町・敷島町・双葉町の三町合併協議会の中で消防・救急システム等の問題に対して協議さ

れている内容は、甲府市の機関で協議され決定しているのかどうか。

三町が目指す新市の水道は統合することと想定しているようですが、甲府市水道局としてどのような事業変更が想定されるか。

甲府市は敷島町に給水義務があるのでこのままの形で給水されていき、金銭譲渡はあり得ない等の話を耳にするが、これらに関する考え方はどうか。お伺いします。

【答】三町合併協議会における水道に係る新市将来構想につきましては、「当面現在の三町の給水体制を維持」としてありますが、構想策定にあたっての敷島町水道のあり方につきましましては、昨年来より敷島町及び三町合併協議会に対し、話し合いを申し入れてまいりましたが、これまで具体的な協議はなされておりません。

水道施設は、初期投資や施設の更新に費やした費用は利用者に納めていただくこととなりますので、いまだ回収されていない部分等は、適正な価格での譲渡が必要となり、無償での譲渡は有り得ないものと考えております。

今後の動向によりましては、いくつかの事業変更が想定され、甲府市の水道事業経営等に大きな影響がありますので、三町合併協議会に対し、将来構想をより具体的な方向性を示すよう働きかけてまいりたいと考えております。

平成15年 6月定例会質問要旨

氏名	所属	質問の要旨
依田 敏夫	新政クラブ 代表質問	新政策プランの基本理念について 豊かさの実感できる地方都市の創造について 「心の教育」について
齊藤 憲二	政友クラブ 代表質問	敷島町の合併に伴う上水道について 小学校の適正規模・適正配置について 図書館行政について
堀内 征治	公明党 代表質問	個人情報保護条例の制定について 中小企業向け借換制度の実施について 小児救急医療体制の整備充実について
加藤 裕	日本共産党 代表質問	新都市拠点整備事業について 市民要望を反映した補正予算の編成について 行政改革について
保坂 一夫	日新クラブ 代表質問	市政への評価と外部評価制度導入の考え方について 「e-甲府情報ねっと」について まちなか居住再生事業の推進について
中込 孝文	市民クラブ 代表質問	市町村合併について プレハブ校舎の解消及び耐震診断について 医療事故の届出について
山村 雄二	新政クラブ 一般質問	「現代美術こうふ展」の成果と芸術文化イベントについて 職員の資格・能力の有効活用について 千代田湖畔及び周辺の環境美化について
野中 一二	新政クラブ 一般質問	商店街ではできない行政の果たす役割について 北口県有地の整備について 歴史公園の活用について
雨宮 年江	政友クラブ 一般質問	食の教育と学校給食での地産地消の取り組みについて 福祉関係計画策定推進事業について 住基ネットのセキュリティ対策について
内藤 司朗	日本共産党 一般質問	水道料金の引き下げについて こどもと重度心身障害者の医療費の窓口無料化について 留守家庭児童会の運営について
内藤 幸男	無所属 一般質問	財政規模について 臨時財政対策債等の発行について 税源移譲について

中小企業向け借換 制度の実施は (公明党)

【問】長引くデフレ不況の中、金融機関による貸し渋りや貸し剥がしなどにより、中小企業の資金繰りは一段と厳しさを増しています。甲府市は中小企業支援のために、独自の借換制度導入の検討をしているのか。お伺いします。

【答】国において本年二月に「資金繰り円滑化借換保証制度」が創設され、本市もこの制度に対応し、甲府市中小企業振興融資制度において新たに借換融資を本年七月一日から実施してまいります。

借換目的既往借入金は、本市制度融資資金のほか、金融機関が独自に融資している資金も対象とし、さらに、借換融資に合わせ、新たな事業資金の借り入れも可能といったしました。

また、その他の措置としまして、小規模企業者小口資金の融資利率の引き下げ及び利子補給対象の拡大、償還期間延長の特例措置の緩和策などを実施してまいります。

今般の融資制度の拡充により、中小企業者の負担軽減及び資金繰りの円滑化を図るとともに、今後中小企業の振興に積極的に取り

組んでまいります。

新都市拠点整備事業 業について (日本共産党)

【問】甲府市は、大不況によって、市税収入の落ち込み、過大な事業投資などによって財政が悪化してきています。なぜ、いま甲府市が三十号街区を買い取り事業化するか。さらに、今後歴史公園を含め拠点形成事業にどのくらい財政投入するのか。答弁を求めます。

【答】新都市拠点整備事業は、甲府駅北口地域一帯へのゆとりと潤いのある都市環境の整備とともに、高度な都市機能の実現と、賑わいと魅力ある交流拠点を形成するため、歴史公園や駅前広場、多目的広場などの都市施設を国庫補助事業の「まちづくり総合支援事業」として整備するものです。

このうち歴史公園は、甲府城の山手門附近の貴重な遺跡が出土したことから地域の特性を踏まえ、甲府城との連携を図り、市民のいこいと交流の場所として、駅前広場、多目的広場と一体的な回遊性を持たせる公園として整備するよう「甲府駅北口地区整備構想策定委員会」による答申を受け事業化を図るもので、歴史公園の整備は平成十五年度に用地買収と委託を

行い、平成十六年度から平成十七年度の二カ年で工事施工を予定しております。

なお、まちづくり総合支援事業で、歴史公園、駅前広場、多目的広場の整備費用として五カ年で総額約二十二億円予定しております。

「e-甲府情報ねっ と」について (日新クラブ)

【問】新政策プランの中で、市長が掲げた「e-甲府情報ねっ」とがどのように活かされているのか。また、併せてデジタルデバイス対策についてお聞かせください。

【答】「e-甲府情報ねっ」とは、総合的な情報システムとして市民の視点に立って、医療、福祉、教育等の身近に必要な行政情報や生活支援情報等の情報を市民に検索しやすい形で提供するものです。

本年度は年次の構築計画の初年度として、総合的な情報システムを構築するための、全体的な基本構想や基本設計に要する委託経費を計上したところであります。

今後長期的、総合的視点に立ち、全ての市民が高度情報通信社会の恩恵を享受し、安心して快適に暮らせる基盤づくりに努めます。

デジタルデバイス問題は、IT社会の進展の中で、今後更に拡大

することが予想され、「e-甲府情報ねっ」とを実現する上でも重要な問題であると認識しております。

本市では、IT講習の継続的実施や、市民が気軽にふれあう場として、地域の公民館等に公共端末の配備を行っています。

今後更に、高齢者に対する操作サポートを始め、地域ボランティアと連携した支援体制の充実に努めてまいります。

プレハブ校舎の解 消及び耐震診断は (市民クラブ)

【問】小学校の統廃合問題で、市長は、中心部の小規模校解消や南部地域の大規模校の解消など全市的視点に立ち、市民の皆様と幅広い対話を重ねる中で進めていく、地域の方々と新たな話し合いの場を設ける中で、広範な意見を聞き、方向性を目指すとしています。

市長は子供の成長は待つてくれない。早急に決断し適切に対応するとしているが、南部の大里小のプレハブ解消問題はどうするのか。また、耐震診断の順序の公平性はどうか。考えをお聞かせください。

【答】大里小学校は、現在二クラスがプレハブ校舎で授業を行っている状況にありますが、プレハブ

校舎の解消は老朽校舎の改築と併せて、総合計画第八次実施計画の中に位置付けを行ってまいります。

耐震診断につきましては、昭和五十六年の建築基準法の改正により、昭和四十六年から五十六年の間に建てられた建築物は、原則として、老朽化しているものから順次耐震診断を実施しているところであり、昭和四十五年以前に建てられた建築物については、全て建て替えることと致しております。

千代田湖畔及び周 辺の環境美化は (新政クラブ)

【問】千代田湖は釣人が年々増加してきており、それにも増して湖畔のゴミが多く、空き瓶、空き缶等が投げ捨ててあります。

また、湖畔、特に水辺に釣り糸の「残骸」が散乱しており、立て札や立て看板だけでなく、基本的に「ゴミ持ち帰り」をアピールする方法を考えることも不可欠だと思います。考えをお示しください。

【答】千代田湖及び周辺部は、一部の心無い人達により空き缶、瓶、可燃物の投棄等が見受けられ、対策は喫緊の課題と認識しています。

湖畔の美化活動は地域住民、各種団体、関係機関及び高校生の皆様等により清掃活動が行われ、感

謝しているところであります。

釣り糸の処理は、千代田湖の管理者である山梨県等と協議し、また、他都市の状況等も調査する中で対策を検討してまいります。

甲府市は、「甲府市環境の美化に関する条例」を昨年六月施行し、環境美化行政を推進し、「環境美化」のために広報への掲載、チラシ配布、放送等、不法投棄防止の看板設置等を行ってまいりました。

これからも地域住民の皆様、環境監視員、各種団体と連携を密に、「ごみの持ち帰り運動」の推進や不法投棄パトロール等の監視を強化し、未然に廃棄物散乱を防止する方策を講じ、緑豊かな環境保全に努めてまいります。

歴史公園の活用について

(新政クラブ)

【問】三十号街区の歴史公園は史実に基づくお花畑を再現するなど工夫が大切になると思います。

また、府中五山に連携を持たせることなど面的に広がりをもたせることができるならば、他都市からの交流人口も増加するに違いありません。実際、甲府市内には全国に知られている名刹がありながら観光資源として活用されておりません。交流人口の増加と題目だ

けを唱えるのではなく、これを機会に何らかの行動を興すときと考えますが如何でしょうか。

【答】歴史公園は、国の「まちづくり総合支援事業」の補助制度を活用し、今年度から実施設計に着手してまいります。

整備にあたりましては、市民や有識者等のご意見を参考にすることで、甲府城の遺構を活かした歴史が肌で感じられる景観形成に意を用いるとともに、市民をはじめ多くの方々が憩い安らぐことのできる場としたいと考えております。

また、甲府駅北口周辺には豊かな自然を育む愛宕山広域公園や、甲府五山をはじめとする史跡や神社・仏閣が点在していますので、市民はもとより甲府を訪れる皆様にも、甲府の歴史や文化が再発見できる起点として、歴史公園を活用してまいりたいと考えております。

福祉関係計画策定推進事業について

(政友クラブ)

【問】福祉関係計画策定に向けて策定委員会等を設置すると思いますが、委員数及び構成はどのような人を想定し、計画策定に向けていった手順や手法をとりましか。

また、地域福祉計画策定では、住民参加をどのように保障してい

くのですか。お伺い致します。

【答】福祉関係計画は、広く市民のご意見を伺うため、一般公募による市民をはじめ学識経験者、関係団体の代表者等により構成する「市民懇話会」を設置し、計画ごとに「部会」において検討して参ります。委員数は、各部会十名程度の委員を予定しております。

また、地域の実状や市民の意向、さらには、必要なサービス量等を把握するため、児童、障害者、地域福祉関係者等の対象者別にアンケート調査の実施や、ホームページによる多くの市民の意見聴取を行って行く考えであります。

また、地域福祉計画は計画の策定段階に住民参加は不可欠であり、このため社会福祉協議会と緊密な連携を図り、公募による市民を含めた「ワークショップ」の開催を実施して参ります。

今後も、市民や団体、行政とが協働し、「市民が安心して暮らし続けることができる福祉のまちづくり」を目指して、計画策定に取り組んで参ります。

留守家庭児童会の運営について

(日本共産党)

【問】学童保育を必要とするすべての子が入会できるように、定員

も指導員も増やす、そのために施設も拡張する、こうした対策を急いでとるべきだと思います。

また、開設時間の延長について、学校長や指導員の協力をあおいで、午後六時までの時間延長を考えるべきだと思います。

さらに、老朽化し、痛みが激しく、施設がせまいプレハブ施設の改善についてですが、夏休みを控え、直ちに改修拡張が必要と思われまます。見解を求めます。

【答】留守家庭児童会は、一児童会あたりの定員を概ね四十人とし、それぞれの児童会に指導員一名ないし二名配置し運営しております。小学校三年生までを対象としている現状において、一部に入会待ち者が見られますので、まずこの解消に取り組んで参ります。

また、開催時間の拡大は、学校の教職員の勤務時間等との関係から、維持管理上の問題や児童の安全確保、更には指導員の確保など、さまざまな問題を解決する必要があります。引き続き検討して参ります。

プレハブ施設につきましては、施設ごとに適宜、改修等を行っておりますが、大規模な改修は年次的に対応して参ります。

財政規模について

(無所属)

【問】甲府市の歳入は長引く景気

低迷により年々減少しており、平成十一年度決算と平成十五年度予算額との対比では、市税収入約三十五億円の減、国県支出金及び地方交付税約二十三億円の減、市債約三十四億円の増で、歳入は約二十四億円の減少です。また、歳出では人件費約十一億円の減、公債費一億円増、繰出金二十六億円の増で、歳出は約十六億円増加となり、対比しますと、約四十億円財政内容が厳しくなっております。

本市の財政規模は、五百七十億円から六百億円が無理のない財政運営になると思いますが、見解をお伺い致します。

【答】地方分権時代を迎え、地方財政を取り巻く環境は一段と厳しく、財政運営につきましても先行き不透明な状況が予測されることからであります。

今までの国への依存体質を改め、「自立できる自治体」の構築に早急に対処していかなければならないと考えております。

言うまでも無く、最小の経費で最大の効果を挙げることが財政運営の基本でありますので、真に必要とされる行政需要や市民サービスの見直しを行うとともに、行財政改革の徹底した取り組み等により、適正な財政規模を維持し、住民福祉の増進に努めて参ります。

五月臨時会 新しい議会構成

市議会改選後の初議会である臨時市議会は、五月十九日に招集され、会期を一日と定め、正副議長など新議会の構成と市長から提出された補正予算、条例の一部改正等について審議しました。

正副議長の選任については、投票により第八十五代議長に谷川義孝氏（政友クラブ）が、第九十五代副議長には桜井正富氏（新政クラブ）がそれぞれ選任されました。また、議会における内部審査機関として、条例により設置されている四つの常任委員会並びに議会運営及び議長の諮問に関する事項などを調査する議会運営委員会の委員を選任し、さらに広域議員、議会選出監査委員等を選出して議会構成を終わるとともに、提出された議案について、いずれも当局原案のとおり可決・承認し、五月臨時会を閉会しました。

総務委員会

定数九人

- 委員長 保坂 一夫
- 副委員長 山村 雄二
- 委員 依田 敏夫
- 委員 桜井 正富
- 委員 森沢 幸夫
- 委員 加藤 裕
- 委員 依田 敏夫
- 委員 齊藤 憲二
- 委員 秋山 雅司
- 委員 中込 孝文

文教委員会

定数九人

- 委員長 堀内 征治
- 副委員長 駒木 明
- 委員 上田 英文
- 委員 柳沢 暢幸
- 委員 内藤 泉
- 委員 山田 厚
- 委員 佐藤 茂樹
- 委員 小越 智子
- 委員 清水 節子

経済建設委員会

定数八人

- 委員長 福永 稔
- 副委員長 野中 一二
- 委員 奥石 修
- 委員 谷川 義孝
- 委員 中山 善雄
- 委員 金丸 三郎
- 委員 清水 保
- 委員 内藤 司朗

環境水道委員会

定数八人

- 委員長 雨宮 年江
- 副委員長 原田 英行
- 委員 清水 仁
- 委員 萩原 隆宏
- 委員 石原 剛
- 委員 内藤 幸男
- 委員 渡辺 礼子
- 委員 小野 雄造

議会運営委員会

定数十二人

- 委員長 森沢 幸夫
- 副委員長 秋山 雅司
- 委員 依田 敏夫
- 委員 上田 英文
- 委員 柳沢 暢幸
- 委員 石原 剛
- 委員 中込 孝文
- 委員 堀内 征治
- 委員 保坂 一夫
- 委員 野中 一二
- 委員 齊藤 憲二

議会選出監査委員に 中山善雄氏



議会選出の監査委員末木隆義氏の任期満了に伴い、新たに中山善雄氏を選任する議案が今臨時会に提出され、裁決の結果、全員異議なく同意することと決しました。

広域行政事務組合 議員を選挙

議員の任期満了に伴い、本市選出の組合議会議員十二人の選挙が行われ、指名推薦により次の各議員が当選しました。

- 依田 敏夫 上田 英文
- 山村 雄二 野中 一二
- 齊藤 憲二 森沢 幸夫
- 柳沢 暢幸 秋山 雅司
- 内藤 泉 加藤 裕
- 保坂 一夫 中込 孝文

市町村合併促進 議員協議会設立

五月十九日の臨時会終了後、市議会議員の有志により、任意の会である市町村合併促進議員協議会が設立されました。

平成15年 6月甲府市議会定例会議案審議結果

議案番号	件名	付託委員会	議決月日	結果
議案第56号	甲府市・数島町合併協議会の設置について	総務	6月12日	原案可決
議案第57号	専決処分について（平成15年度甲府市老人保健事業特別会計補正予算（第1号））	民生文教	6月12日	承認
議案第58号	平成15年度甲府市一般会計補正予算（第1号）	分割	6月12日	原案可決
議案第59号	平成15年度甲府市老人保健事業特別会計補正予算（第2号）	民生文教	6月12日	原案可決
議案第60号	甲府市手数料条例の一部を改正する条例制定について	総務	6月12日	原案可決
議案第61号	甲府市悠遊館条例の一部を改正する条例制定について	総務	6月12日	原案可決
議案第62号	甲府市消防団員退職報償金支給条例の一部を改正する条例制定について	総務	6月12日	原案可決
議案第63号	甲府市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	民生文教	6月12日	原案可決
議案第64号	甲府市市立の学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例制定について	民生文教	6月12日	原案可決
甲議第6号	義務教育費国庫負担制度を堅持し、教育の機会均等及び水準の維持向上を求める意見書提出について	省略	6月12日	原案可決
甲議第7号	郵便投票制度等の改正を求める意見書提出について	省略	6月12日	原案可決

宮島市長所信表明

(要旨掲載)



私が市長に就任し、早くも四ヶ月余を経たわけであり

ますが、この間、出来得る限りより多くの市民の方々と直接語り合う機会を持つよう努めながら、私の市政運営の基本理念であります「市政は市民のためにある」の実践といたしまして、市民満足度を高めるための諸施策に取り組んできました。

また、職員政策対話をはじめとした新たな政策推進システムの導入や、簡素で効率的な組織機構の構築など、内部管理体制の大胆な改善・改革にも積極的に取り組んできたところであります。

今後引き続き、対話等を通じて市民の方々からお寄せいただいた御意見・御期待に応えられるよう、果敢に取り組んでまいりたいと考えております。

このたび発表いたしました新政策プラン「『わ』の都・こうふプロジェクト」はこうした状況を認識しつつ、都市づくりの基本理念を「市民と創る温もり優しさ」「わの都・こうふ」といたしまして、私のまちづくりに対する考えを詳

らかにし、今後の市政の進むべき方向を中期的な観点から明らかにしたものであります。本年度の市政執行にあたりましては、

一 対話重視と市民参画による合意を基本とした開かれた市政を推進し、重要諸課題の早期解決を図る。

一 市民のライフスタイルやニーズの変化に適応した、市民・生活者起点による質の高い行政サービスの展開を図る。

一 かけがえの無い市民の宝である子どもたちの健やかな成長を図るとともに、高齢者や障害者が地域の中で心豊かに暮らせる社会の実現に努める。

一 中立性、公平性に配慮する中で、受益者負担、原因者負担、並びに世代間負担の適正化を図る。

一 地域経済の活力再生に向け、まちなかの賑わい創出や、地場中小企業振興対策など、効果的で時宜を得た施策の積極的な推進を図る。

一 高次都市機能集積による甲府駅周辺の拠点性を高めるほか、計画的な市街地整備を進め、地域の特性を踏まえた土地利用の促進を図る。
以上六点に視点を置いて取り組んでまいれる所存であります。

甲府市・敷島町合併協議会の設置を可決

敷島町住民の住民発議により、甲府市との合併協議会設置を求めた請求が敷島町へ出され、合併特例法に基づき両市町議会へそれぞれ議案を提出することとなり、甲府市は「甲府市・敷島町合併協議会の設置について」の議案を提出し、六月十二日の本会議において、多数をもって可決されました。なお、この協議会設置のためには、敷島町議会でも可決されることが必要となります。

討論 (要旨掲載)

平成十五年度甲府市一般会計補正予算について

【反対討論】日本共産党

住民基本台帳カード発行手数料、住民基本台帳ネットワークシステム構築事業費は、市の個人情報保護条例が策定されない段階では情報漏えい、不正使用の危険性は払拭されません。また、監視社会の実現に通じるので反対です。

歴史公園事業は、厳しい財政状況と市民生活の現状に照らし、いま必要な予算ではなく、市が単独で行う事業とは思えません。先送りしても市民生活には支障がありません。反対します。

【賛成討論】政友クラブ

今回の補正予算の主な内容は、市民福祉の向上を図るためのきめ細かな配慮と真摯な取り組みが認められます。

厳しい財政状況ですが、市長は職員の先頭に立ち、知恵を出し合い「市政は市民のためにある。」を市政運営の基本理念とし、常に市民・生活者視点の行政運営を心がけて頂くことをお願い申し上げ、賛成の討論とします。

甲府市・敷島町合併協議会の設置について

【反対討論】日本共産党

市町村合併は住民自身の意向にそって進めることが大原則です。三町(竜王、敷島、双葉)合併は是非について、七月に住民投票が行われることから、その結果を待ったうえで、協議をしても遅くはありません。

また、甲府市は敷島町との合併について協議会を設置する前に、十分市民の意向を聞くべきで、そうしたことをせずに拙速に合併協議会を設置することには反対です。

【賛成討論】新政クラブ

市町村合併は広域的視点に立つたまちづくりが可能となり、各種行政サービスの享受や公共施設の利用等が広域的に可能となるほか、住民の利便性向上や多様な人材の結集を促進し、住民サービス向上と安定的な提供が実現するもので、中核市実現のための大きな一歩で

す。中核市構想は、今後の都市間競争に打ち勝つ、魅力あるまちづくりを目指すことにより、甲府市が県都としてなお一層飛躍する重要な施策ですので、今後法定合併協議会を設置し具体的な協議を進め、それぞれの地域の個性を将来の都市づくりに活かし、住民が合併して良かったと思える都市の創造が早期に実現することを期待し、賛成の討論と致します。

請願・陳情審査結果

○採 択

- ・義務教育費国庫負担制度を堅持し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための請願
- ・郵便投票制度等の改正を求める意見書の提出を求める請願
- 閉会中継続審査
 - ・教育基本法改正反対の意見書採択を求める請願
 - ・ごみ業務の民間委託と有料化を行わないことを求める請願

市議会だより編集委員会

六月定例会が終わり、私共新しい編集委員による「市議会だより」をお届けします。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 谷川 義孝 |
| 副委員長 | 桜井 正富 |
| 委員 | 佐藤 茂樹 |
| | 内藤 司朗 |
| | 山田 厚 |
| | 奥石 修 |
| | 渡辺 礼子 |
| | 保坂 一夫 |
| | 清水 節子 |

新議員の横顔



上田 英文
下鍛冶屋町994
新政クラブ 10期
☎ 241-6600



依田 敏夫
上石田三丁目2-26
新政クラブ 6期
☎ 222-2356



原田 英行
国母四丁目7-21
新政クラブ 3期
☎ 224-4702



福永 稔
上今井町275-10
新政クラブ 3期
☎ 241-2195



駒木 明
羽黒町740-10
新政クラブ 2期
☎ 251-0726



桜井 正富
善光寺一丁目6-8
新政クラブ 2期
☎ 233-8552



山村 雄二
塚原町764
新政クラブ 2期
☎ 252-6194



野中 一二
武田二丁目11-19
新政クラブ 2期
☎ 254-4040



清水 仁
荒川一丁目1-25
新政クラブ 1期
☎ 253-5671



興石 修
大里町3225-8 ヴェルドール501
新政クラブ 1期
☎ 243-5399



森沢 幸夫
千塚四丁目2-5
政友クラブ 6期
☎ 252-0013



斉藤 憲二
富竹二丁目8-16
政友クラブ 6期
☎ 226-3336



雨宮 年江
和戸町1195-2
政友クラブ 4期
☎ 232-4765



谷川 義孝
古府中町2784
政友クラブ 3期
☎ 252-8387



柳沢 暢幸
中央三丁目10-15
政友クラブ 3期
☎ 235-2472



清水 保
国玉町613
政友クラブ 1期
☎ 235-3036



佐藤 茂樹
飯田五丁目18-6
政友クラブ 1期
☎ 228-0483



荻原 隆宏
大里町235-2-402
政友クラブ 1期
☎ 241-3682



堀内 征治
宮原町39-8
公明党 6期
☎ 241-8886



秋山 雅司
千塚四丁目7-20
公明党 6期
☎ 251-1618



中山 善雄
住吉三丁目2-16 ヴィラ萩原1-B
公明党 2期
☎ 223-0027



渡辺 礼子
美咲一丁目7-3
公明党 1期
☎ 253-9425



内藤 泉
増坪町554
公明党 1期
☎ 241-3258



加藤 裕
千塚五丁目15-39
日本共産党 5期
☎ 251-6973



石原 剛
中小河原一丁目16-28
日本共産党 4期
☎ 241-3561



小越 智子
善光寺三丁目21-7
日本共産党 2期
☎ 237-4625



内藤 司朗
古上条町30-13
日本共産党 1期
☎ 241-5227



小野 雄造
湯田一丁目4-3
日新クラブ 5期
☎ 235-3457



保坂 一夫
塩部三丁目5-28
日新クラブ 3期
☎ 251-7090



中込 孝文
酒折二丁目2-14
市民クラブ 5期
☎ 232-5383



山田 厚
北口三丁目7-15
市民クラブ 2期
☎ 252-0280



清水 節子
伊勢四丁目21-1
民主党 6期
☎ 235-6510



内藤 幸男
塩部三丁目2-23
無所属 9期
☎ 252-9185



金丸 三郎
伊勢二丁目7-11-505
無所属 4期
☎ 237-3600

⑨ 各議員の写真の下には氏名・住所・所属党派・当選回数・電話番号を掲載してあります。
なお、掲載順序は各党派順です。